



地域連携だより

月曜日から木曜日までの夜間診療終了のお知らせ

2022年6月1日より**夜の外来診察が金曜日のみ**となりました。ご連絡が遅くなり申し訳ありませんが月曜日から木曜日までは午前診察、午後診察のみとなります。

なお、内科と整形外科の24時間体制は引き続き行っておりますので、急な診察・入院の対応は可能です。また、各種検査の対応も引き続き可能です。下記に6月1日からの曜日・時間別の当院診療体制を一覧に致しましたのでご確認をお願い致します。

詳細に関しましては、同封しております外来診療一覧表にてご確認下さい。

| 項目 \ 曜日 | | 月～木 | 金 | 土 | 日・祝 |
|-----------|--------|---|---------|--|-------------|
| 地域連携室への連絡 | | 8:30～19:30まで対応いたします。以降は医事課の夜勤者が対応致します。 | | 8:30～17:00まで対応いたします。以降は医事課の夜勤者が対応致します。 | 医事課が対応致します。 |
| 内科 | 一般診療 | 17:00まで | 19:00まで | 12:15まで | × |
| | 救急診療 | 24時間対応 | | | |
| | 入院依頼 | | | | |
| 整形外科 | 一般診療 | 12:15まで (月:13:15～15:15あり) (木:14:00～16:45あり) | 12:15まで | 12:15まで | × |
| | 救急診療 | 24時間対応 | | | |
| | 入院依頼 | | | | |
| 検査 | MRI検査 | 19:00まで | 19:00まで | 17:00まで | 事前予約時のみ対応 |
| | CT検査 | 19:00まで | 19:00まで | 17:00まで | 事前予約時のみ対応 |
| | 内視鏡検査 | 予約対応 | 予約対応 | 予約対応 | × |
| | エコー検査 | 予約対応 | 予約対応 | 予約対応 | × |
| | その他の検査 | 要相談 | 要相談 | 要相談 | × |

当院では運動器エコーを行っています

当院では2020年より医師、検査技師、療法士が協力し運動器エコーを実施し、リハビリテーションプログラムに反映させています。日本整形外科超音波学会のシンポジウムでは注射を使用したエコー下筋膜リリースに加えて、徒手でのリハビリを実施すると除痛効果が長く得られるという話もされていました。徒手で筋膜リリースを実施するに当たり、超音波画像診断装置（以下エコー）は最適のツールです。運動器エコーを2年間実施し、実感したことをお伝えしたいと思います。



【運動器エコーとは？】

学会などで決められた定義はないのですが、エコーのプローブを運動器に当て、得られた画像所見に基づき、診断（医師のみ）評価、治療を行う意味で使われています。エコーは、X線には写らない運動器（筋、腱、靭帯、血管、神経など）をリアルタイムで撮像することができます。そこから得られた情報をリハビリに用いることで、より安全で正確なリハプログラムを提供できると考えています。

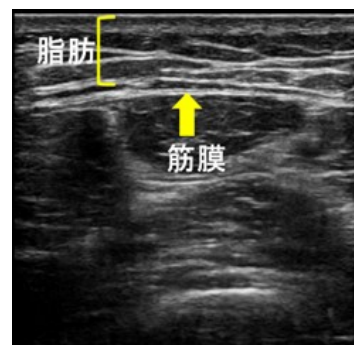
【適 応】

適応は**運動器（筋、神経、靭帯など）に機能障害や何らかの症状が出現している方**が対象です。運動器疾患で可動域制限が生じている方、疼痛、痺れがある方、脳血管疾患で麻痺が生じ、肩や足部に疼痛が生じている方など幅広い疾患が適応となります。

【運動器エコーの強み】

1. 患部の正確な触診が可能となる。

筋膜リリースを実施したいとき、個人によって脂肪の厚さが異なるため正確に筋膜を触れられているか不安になります。エコーを用いることで**脂肪と筋膜の境が明確に見える**ため、正確なリリースが行えるようになります。



2. 患部の動きをリアルタイムでみることができる。

「どこの筋・筋膜が動いていないか」、「腱、靭帯はどのようになっているか」、「水分の貯留はないか」、「異常な血流になっていないか」などをリアルタイムで確認できるため、運動の継続に悩んだ場合であっても、医師と相談の下、自信をもってリハビリを提供できるようになりました。

3. 患者さんへの自主練習指導が容易となる。

「力の入れ方が分からない」「自分でマッサージしたいけど、どこをどのように触って良いか分からない」と言われる患者さんが多いです。エコー画面を見ながら方法を伝えることで力の入れ方、触り方を確認しながらの運動指導ができます。患者さんからは、分かりやすいと好評の声をいただいております。

最近では筋膜リリースの他に、エコーを用い神経周囲を注射あるいは徒手でリリースするNerve Hydroリリースが登場し、疼痛や痺れが軽減するという報告がされております。

先生方の施設やクリニックを利用されている患者さんが当院に入院され、リハビリが必要となった場合には、可能な限り症状を改善し、先生方の元にお戻りいただけるよう、当院リハスタッフ一同、引き続き努力して参ります。